

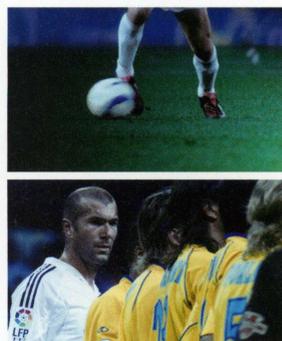
引退したらピッチの緑が恋しくなるだろう。
“緑色の四角形”が…。

ジネディーヌ・ジダン

これはサッカー映画ではない

“誰も見た事のない映像” “誰も聞いた事のない音響”

2006年5月7日。W杯後の引退を表明した世界一華麗なフットボール、ジネディーヌ・ジダンは、所属するレアル・マドリードのホームグラウンドであるサンティアゴ・ベルナベウで最後の試合ビジャレアル戦に臨み、見事得点を挙げその勇姿を人々の脳裏に焼き付けた。その一年前、2005年4月23日の同じ場所、そして同じ対戦相手、レアル・マドリード対ビジャレアル戦で、試合と同時に一風変わった“出来事”が進行していた。ヨーロッパで初めて使用される高解像度カメラを含むシンクロされた17台のカメラが、たった一人の男ジダンだけを追い、300倍のズームやハイ・ビジョンなど様々な最先端技術を駆使してピッチ上の視点そのままに撮影。360度の展望を実現するこのカメラの大群は見る者を多次元空間へと誘い、ゲーム全体を通じてジダンと共に動き回る感覚を味わうことになる。カメラはボールの行方に関わりなくジダンだけを追う。ジダンのつぶやき、ジダンのうめき声、ジダンの足音、ベッカムやロナウドとのやりとりなどを、ハリウッドが誇る最高のサウンド・エンジニアによる臨場感溢れる音響とカメラマンによる誰も見た事のない迫力の未体験映像で魅せる。そしてジダンの“心の内”が明らかにされる。



ジダン×モグワイ×モダン・アート＝全く新しい“体験”

監督は現代美術の優れたアーティストに贈られるターナー賞を受賞したスコットランド人アーティスト、ダグラス・ゴードンとフランス人アーティスト、フィリップ・パレーノの二人。彼らの作品はグッゲンハイムやポンピドゥー・センターなどにも収蔵される程の実力の持ち主で、その斬新で大胆な映像感覚は、見る者すべての五感を刺激し、サッカーに興味が無くジダンを知らない者ですら大いに驚嘆する事だろう。そしてもう一つの大きな魅力が、シーンの最先端を走る人気ロックバンド、モグワイが本作のために書き下ろした音楽だ。まるで微風のように包みこむ繊細さと、体を震わす程の重厚なサウンドが、映像と絡み合いそして一つになる。本作は二人の共同監督とジダン、そしてモグワイによる完璧なコラボレーションとして、ドキュメンタリー映画のイメージを完全に覆す、サッカーとロックとモダン・アートを融合させた全く新たな“体験”となるだろう。また本作には作品の内容に賛同したアニエスベーが共同製作者として名を連ねている。

ジダン 神が愛した男
ZIDANE
un Portrait du 21e Siècle

ジネディーヌ・ジダン

監督:ダグラス・ゴードン フィリップ・パレーノ 音楽:モグワイ 共同製作:アニエスベー
プロデューサー:シングルヨン・シグヴァトソン(「ツイン・ピークス」「ワイルド・アウト・ハート」「バスティア」「K-19」)他
撮影:ダリウス・コンジ(「セブン」「チリカテッセン」「エビータ」「エイリアン4」「ロスト・チルドレン」)
編集:エルヴェ・シュネイ(「アメリカ」「エイリアン4」「ロング・エンゲージメント」)
音響:トム・ジョンソン(「スターウォーズ」「シリーズ」「タイタニック」「チャーリーとチョコレート工場」)
タイトル:MM Paris(ピョーク作品)

[2006年/フランス アイスランド/95分/1:2.35/ドルビーSRD/原題:ZIDANE un Portrait du 21e Siècle(ジダン 21世紀の肖像)] 提供:シネカノン アミューズソフトエンタテインメント 配給:シネカノン

7.15(sat) 想像を超える新たな体験が始まる!

特別鑑賞券絶賛発売中!! ¥1500(税込)

[当日料金:一般 ¥1800 / 学生 ¥1500 / 中・小・シニア ¥1000] 劇場窓口および都内各プレイガイドにてお求め下さい。
★劇場窓口にてお買い求めの方には特製カードをプレゼント! ※詳細は劇場まで

www.zidane.jp >>> 予告編をチェックしろ! ナレーションは誰だ!?

シネカノン有楽町

03(3283)9660

JR有楽町駅前 ビックカメラ7F
www.ccn.co.jp/THEATER/canyurakucho

全席指定(初回のみ自由席)/入替制

